

外部評価軽減要件確認票

事業所番号	2391000045
事業所名	グループホームはるた

【重点項目への取組状況】

重点項目①	事業所と地域とのつきあい（外部評価項目：2）	評価
	地域における高齢者福祉の主要拠点として地域の信頼を得ており、地域の様々な課題に対応したり相談を受けたりしている。 ホーム開設当初から、地域の生活困窮者への支援を法人（ホーム）の使命として活動しており、現在も5名の生活保護受給者の利用がある。	○
重点項目②	運営推進会議を活かした取組み（外部評価項目：3）	評価
	運営推進会議が契機となり、若年性認知症当事者を講師とする「認知症研修会」が開催され、約100名が参加する大盛会となった。 いきさつは、会議の場で若年性認知症の啓蒙活動をする認知症当事者と、運営推進会議に毎回参加している知見者（特養施設の管理者）との出会いがあり、管理者の仲立ちで研修会の開催が決まった。	○
重点項目③	市町村との連携（外部評価項目：4）	評価
	管理者が区の認知症専門部に所属して活動しており、様々な研修の講師や会議での講演等を行っている。 生活保護受給者5名の利用があることから、区民福祉課保護係とも常に綿密な連携をとっている。	○
重点項目④	運営に関する利用者、家族等意見の反映（外部評価項目：6）	評価
	家族のいない利用者や生活保護受給者の利用が多く、大きなイベントを組んで家族を招くことは控えている。 それでも、歌のボランティアが来訪する時などには家族に案内し、家族も来訪して利用者と一緒に歌の輪に入っている。 家族あての便りは季刊（年間4回発行）であり、ホームの取り組みや利用者の様子を伝えている。	○
重点項目⑤	その他軽減措置要件	評価
	○「自己評価及び外部評価」及び「目標達成計画」を市町村に提出している。	○
	○運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されている。	○
	○運営推進会議に市町村職員等が必ず出席している。	○
総合評価		○

1. 外部評価軽減要件

- ① 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」及び「2 目標達成計画」を市町村に提出していること。
- ② 運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されていること。
- ③ 運営推進会議に、事業所の存する市町村職員又は地域包括支援センターの職員が必ず出席していること。
- ④ 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」のうち、外部評価項目の2、3、4、6の実践状況（外部評価）が適切であること。

2. 外部評価軽減要件④における県の考え方について

外部評価項目	確認事項
2. 事業所と地域のつきあい	(例示) ① 自治会、老人クラブ、婦人会、子ども会、保育園、幼稚園、小学校、消防団などの地域に密着した団体との交流会を実施している。 ② 地域住民を対象とした講習会を開催若しくはその講習会の講師を派遣し、認知症への理解を深めてもらう活動を行っている。
	(例示) ① 運営基準第85条の規定どおりに運用されている。 ② 運営推進会議で出された意見等について、実現に向けた取り組みを行っている。
4. 市町村との連携	(例示) ① 運営推進会議以外に定期的な情報交換等を行っている。 ② 市町村主催のイベント、又は、介護関係の講習会等に参画している。
6. 運営に関する利用者、家族等意見の反映	(例示) ① 家族会を定期的（年2回以上）に開催している。 ② 利用者若しくは家族の苦情、要望等を施設として受け止める仕組みがあり、その改善等に努めている。 ③ 家族向けのホーム便り等が定期的（年2回以上）に発行されている。

【過去の軽減要件確認状況】

実施年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	R元年度
総合評価	-	○	○	○	○	○	◎	○	◎	○	◎